



白雲の滝



茶釜の滝



泊滝

我が署の名所

三大難攻滝の一つ「茶釜の滝」

(秋田県鹿角市八幡平)

米代東部森林管理署管内

当署管内は、一部が十和田八幡平国立公園に含まれており、観光名所等も多くありますが、今回は国立公園の近隣にある「茶釜(ちやがま)の滝」をご紹介します。

「茶釜の滝」は、日本の滝百選に選ばれており、米代川の支流である夜明島川の上流部に位置する夜明島溪谷の最上流部に懸かる滝で、百選の中では奈良県の「双門の滝」、愛媛県の「御来光の滝」と並んで滝までのアプローチが難しい「三大難攻滝」の一つとも言われる秘境の滝です。

滝までは、山ルートと沢(川)ルートがあり、いずれのルートも車両での最終地点から片道約2〜3時間かかります。山ルートは八幡平の麓にある大場谷地(駐車場あり)から高低差約400mを登って下る山越えコースとなりますが、途中からは沢を下らなければいけない箇所もあり、見どころもほとんどありません。

一方、沢(川)ルートは夜明島林道終点付近から夜明島溪谷を登るため、高低差は少ないものの、鎖場やはしごなど危険箇所も多くあり、途中には「泊滝」や「白雲の滝」など多くの滝を見ることが出来ます。

また、登山等に自信のある方々が多数でトライする場合は、車両を反対側にも用意して、山ルートから沢(川)ルート、逆に沢(川)ルートから山ルートにチャレンジしてみてもいかがでしょうか。

どのコースを選択して楽しむにしても、かなり難所がありますので、登山の準備を万全にして複数で入山することはもちろんのことですが、当日の天候や水かさの状況により判断されるようお願いいたします。

併せて、付近ではツキノワグマの目撃情報も寄せられておりますので、鈴の携行などクマ対策も忘れずにご利用いたします。



◎交通アクセス

「茶釜の滝」入り口「夜明け島林道終点」まで
 東北自動車道「八幡平IC」から車で約27km(約1時間)
 JR花輪線「八幡平駅」から車で約24km(約1時間)